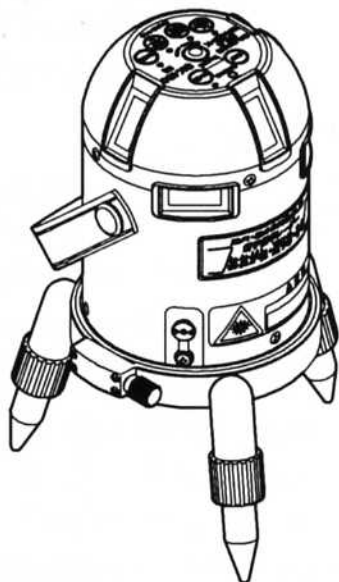
取扱説明書

ヒューマンハードウェアのマキタ
ひとの暮らしとすまいのために……

屋内・屋外兼用墨出し器

モデル SK450

このたびは マキタ屋内・屋外兼用墨出し器をお買上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

● 安全・使用上の注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書では注意事項を次のように使い分けています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上必ずお守りください。

安全上の注意

⚠ 注 意	取り扱いを誤ると使用者が傷害を負う可能性または物損事故が発生する可能性のある内容です。
レーザー光を直接のぞきこまないでください。視力障害の原因となります。本製品はレーザー安全規格クラス２です。	

使用上の注意

≪注≫	製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な内容です。
ＡＣ電源をご利用の場合は、必ず付属の専用ＡＣアダプターを使用してください。 雨水などを受けない場所で使用してください。	

[保管および使用環境について]

- 機械は必ずケースに入れ、高温、多湿、振動、ほこりの多い場所を避けて保管してください。
- 長期間使用しない場合は乾電池を抜き取り、収納ケースに入れて保管してください。
- 明るい場所などでラインがはっきり見えないときは、付属のレーザー透視メガネを使用してください。

[輸送や持ち運びについて]

- 本体を移動させるときは電源をＯＦＦにして、ストラップをお持ちください。
- 運搬する場合は収納ケースに入れて運んでください。
- 運搬や輸送に際しては、機械の精度を損なうような衝撃や、強い振動を与えないよう注意してください。

［点検と分解・修理について］

- 作業前には精度の点検を行い、正しい精度を保持していることを確認してから使用してください。
- 万が一、異常が認められたときでも、本体及びＡＣアダプターを絶対分解・修理しないでください。修理が必要と思われるときは、お買い上げ店または、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

［お手入れについて］

- レーザー光射出口の窓は光学ガラスを採用しているため汚れると高精度の検出ができなくなことがありますので、柔らかい布などで拭き取ってください。

●主要機能

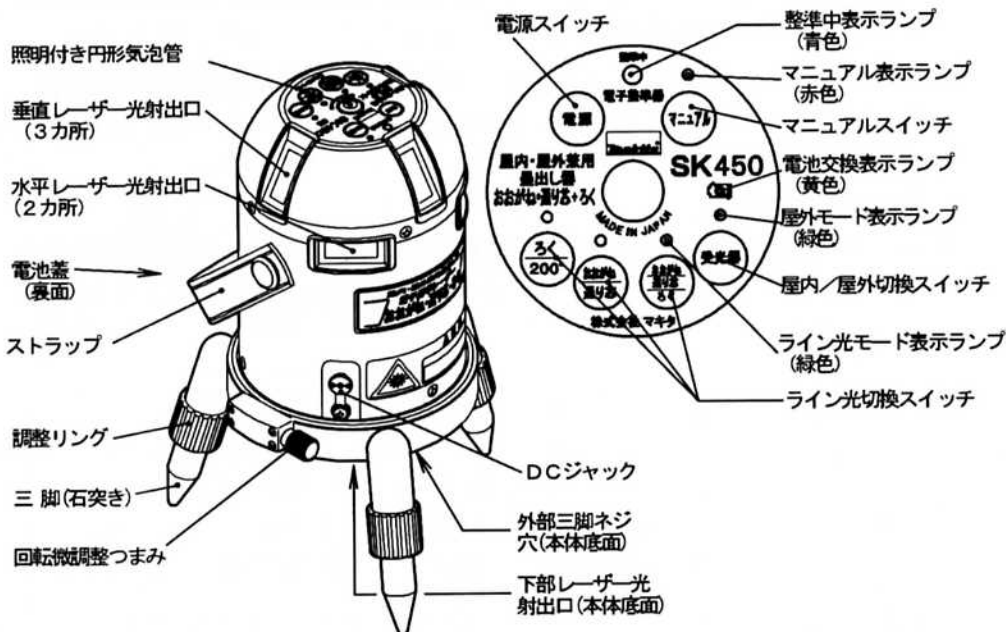
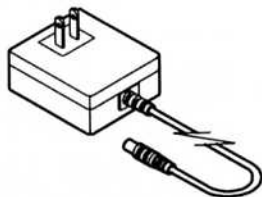
レーザー投射光	光　源 波　長 光出力 ライン幅 ライン投射角 スポット径	赤色半導体レーザー ６３５ｎｍ、下部光６５０ｎｍ 各１mW以下（クラス２） ２．５mm／１０ｍ 垂直140°、通り芯240°、水平200° φ２mm
ﾗｲﾝ光切換ﾓｰﾄﾞ	３ﾓｰﾄﾞ（ろく、おおがね･通り芯、おおがね･通り芯+ろく）	
ﾗｲﾝ光点灯ﾓｰﾄﾞ	２ﾓｰﾄﾞ（屋内：連続点灯、屋外：受光器用ﾊﾟﾙｽ点灯）	
制動方式	電子二軸センサー制御方式	
鉛直指示範囲	±２．５°（範囲外は消灯で警告）	
精度	±１mm／１０ｍ	
電池交換表示	電池交換表示ランプ（黄色ＬＥＤ）点滅	
マニュアルモード	整準完了後本体を傾けても整準しないように固定する	
オートパワーオフ	整準完了後、再整準が３０分間ない場合に電源ＯＦＦ	
電源 （二電源方式）	単３アルカリ乾電池（ＬＲ６／１．５Ｖ）Ｘ４本 専用ＡＣアダプター	
使用時間	ﾓｰﾄﾞ1:約２１時間、ﾓｰﾄﾞ2:約１２時間、ﾓｰﾄﾞ3:約８時間	
使用温度範囲	－５℃～＋４５℃	
寸法	径φ９５mm x 高さ２１３mm（突出部を除く）	
質量	１．５Ｋｇ（乾電池含む）	
三脚ネジ	Ｗ　5/8	
標準付属品	単３ｱﾙｶﾘ乾電池（LR6/1.5V）6本、専用ACｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ、収納ｹｰｽ ﾚｰｻﾞｰ透視ﾒｶﾞﾈ、受光器、ﾊﾞｲｽ	

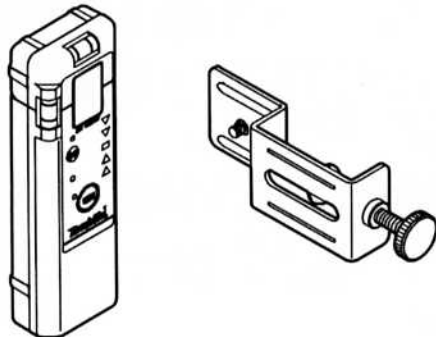
※１．仕様および形状などは改良のため変更する場合があります。

※２．使用時間は当社規定の条件下による。

●各部の名称と標準付属品

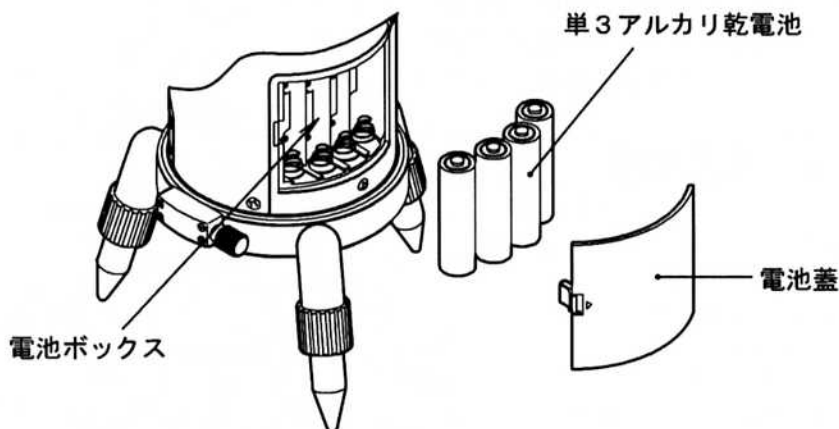
照明付き円形気泡管
垂直レーザー光射出口（3カ所）
水平レーザー光射出口（2カ所）
電池蓋（裏面）
ストラップ
調整リング
三 脚(石突き)
回転微調整つまみ
DCジャック
外部三脚ネジ穴(本体底面)
下部レーザー光射出口(本体底面)

電源スイッチ
整準中表示ランプ（青色）
マニュアル表示ランプ（赤色）
マニュアルスイッチ
電池交換表示ランプ（黄色）
屋外モード表示ランプ（緑色）
屋内／屋外切換スイッチ
ライン光モード表示ランプ（緑色）
ライン光切換スイッチ

・専用ＡＣアダプター
部品番号(TK00ACDC02)

・レーザー透視メガネ
部品番号(TK0LEG2000)

・受光器(ﾊﾞｲｽｾｯﾄ品)
部品番号(TK00LD3001)

●電池の装填方法

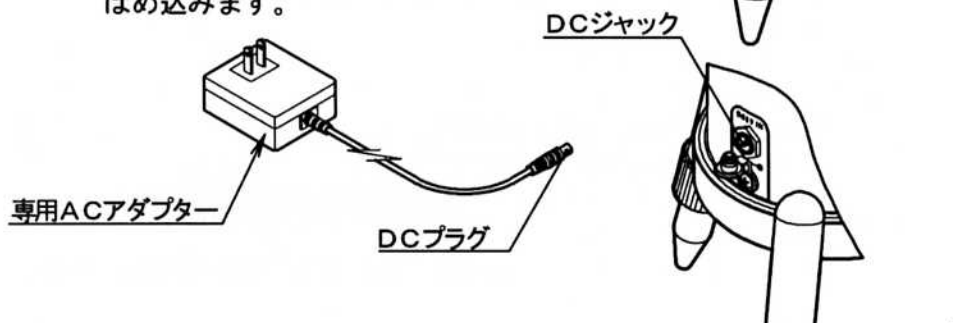
1．電源スイッチをＯＦＦにしてから電池蓋を外します。

2．単３アルカリ乾電池４本を電池ボックス内の図の通り装着します。

3．電池蓋を取付けます。

●専用ＡＣアダプターの使用方法

1．本体の電源スイッチがＯＦＦの状態で、ＤＣジャックカバーを図の方向に抜き、ＤＣジャックに専用ＡＣアダプターのＤＣプラグを差し込みます。

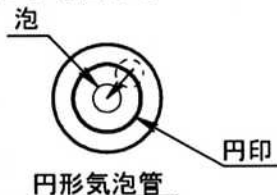
2．本体の電源スイッチをＯＮにします。

3．使用後は本体の電源スイッチをＯＦＦにした後、ＤＣジャックからＤＣプラグを抜きます。ＤＣジャックカバーをはめ込みます。

●本体の据付方法

1．本体を振動がなく、できるだけ平らな床面の所に設置します。

2．円形気泡管の泡が円内にくるように、脚の調整リングを回して調整します。

①泡の片寄りに最も近い脚か、遠い脚の調整リングを回して泡を中央に寄せます。

②他の調整リングを回して泡を円内に入れます。

●本体の使用方法

1．各スイッチと表示ランプについて

①電源スイッチ：［ON］一度押す

［O　N］一回押し

［OFF］１秒の長押し

②整準中表示ランプ：（青）

［点灯］整準中です。

［消灯］整準を完了しました。

［点滅］鉛直指示範囲を超えています。
レーザー光は消灯します。
本体が傾いていますので据付直してください。

［整準停止機能について］

４０秒間で整準が完了しないとレーザー光は消灯して知らせます。再起動する場合は、一度電源をＯＦＦにしてください。

③マニュアルスイッチ：一回押す毎に入／切の切換、電源がＯＮの時に受付ます。
マニュアルモードに切換えると、整準動作を停止するので本体が傾いても自動整準しません。

④マニュアル表示ランプ：（赤）

［点滅］マニュアルスイッチが押されたことを表示（整準完了までの間）

［点灯］マニュアルモード（整準動作停止）であることを知らせます。

⑤屋内／屋外切換スイッチ：一回押す毎に屋外／屋内の切換

⑥屋外モード表示ランプ：（緑）

［点灯］屋外モード

［消灯］屋内モード

⑦ライン光切換スイッチ、各モード表示ランプ：（緑）
３モードの中から作業に応じて選択します。
現在点灯しているライン光のモードを表示ランプで知らせます。

⑧電池交換表示ランプ：（黄）
電池の容量低下を黄色ランプの点滅で警告。新しい電池と交換してください。

2．ライン光切換スイッチにより３種類のモードを選択します。

ろく 200°

モード１：ろくモード
（ろく墨）

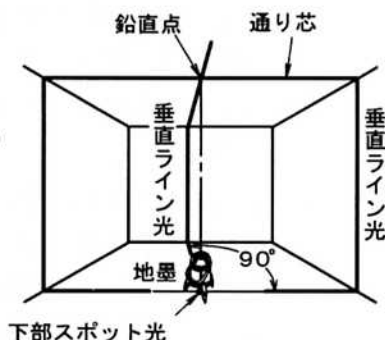
① 水平ライン光を２００°に渡り投射しますので、ろく墨（水平墨）の作業に対応します。

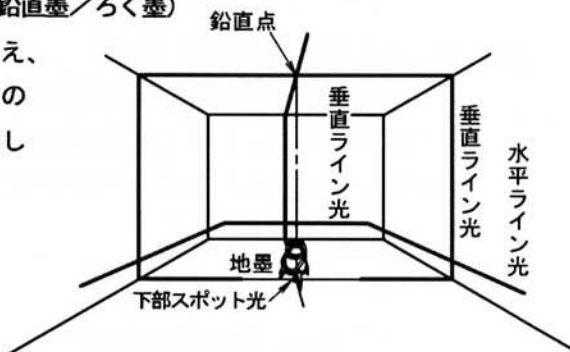
② 専用エレベーター三脚（別販売品）を使用すると水平ライン光の高さ調整が容易にできます。

おおがね 通り芯

モード２：おおがね・通り芯モード
（おおがね・通り芯・たち墨・鉛直墨）

① 三つの垂直ライン光により、天井･床面･三壁面に渡っておおがね・通り芯を指示します。一つの垂直ライン光を使用して、たち墨（垂直墨）が出せます。

② 下部スポット光を地墨に合わせるだけで天井に鉛直点を示し、鉛直墨が出せます。

モード３：おおがね･通り芯＋ろくモード
（おおがね・通り芯・たち墨・鉛直墨／ろく墨）

おおがね･通り芯モードに加え、水平ライン光を投射しますので全ての墨出し作業に対応します。

3．作業終了後は電源スイッチを１秒間以上押し続けてから手を離してください。電源が切れます。

●精度の点検

■ 点検して誤差が大きい場合は、お買上げ店または、最寄りの当社営業所にお申し付けください

1．鉛直点精度と垂直ライン精度の点検

① 天井の高さが約３ｍで振動がなく壁面から２～５ｍ離した床に本体を設置します。また壁面には「下げ振り」を下ろしておきます。

② 電源スイッチを１回押します。
天井に投射された鉛直点を目視で観測しながら、本体を水平に回転します。

③ この時、鉛直点がライン光の幅以上に動かないこと。

④ 壁面に投射された垂直ライン光を「下げ振り」の糸に一致するように水平回転させます。回転微調整つまみを使用すると正確に合せることができます。

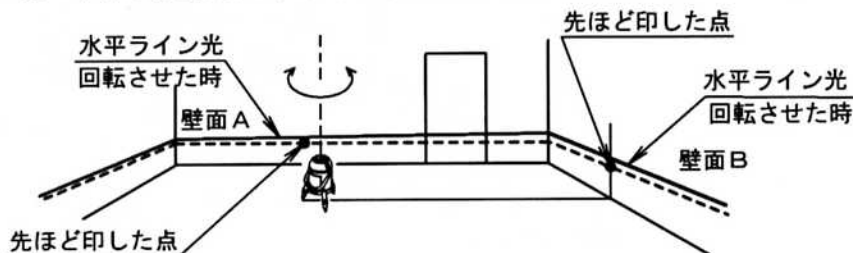
回転微調整つまみ を回して重くなったら回転を止め、つまみ を逆方向に戻し、本体の回転で概略合わせてからもう一度 つまみ で合せて下さい。

⑤ 「下げ振り」に垂直ライン光が合っていること。

2．水平ライン精度の点検

① 本体を壁面Ａから約１ｍ、壁面Ｂから３～５ｍ離して設置します。

② 両壁面に照射した水平ライン光の両端付近に印（点）をつけます。

③ 本体を回転させ、ライン光が先ほど印した点に合っていること。

●マニュアルモードの使用例と注意事項

1．マニュアルモードの使用例

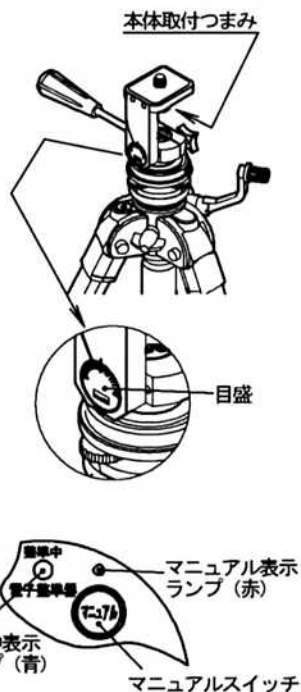
1）建物全体が頻繁に外部の振動を受ける場合

振動が発生しやすい作業環境では、再整準が頻繁に発生し作業が中断することになりますが、マニュアルモードにすると整準動作を停止するので、作業を中断することがなくなります。また、建物全体が揺れている場合は、レーザー光の揺れがなく墨出し作業の効率も向上します。

2）ライン光を任意の角度に簡易傾斜させたい場合

簡易傾斜雲台（別販売品）を微調整雲台付エレベーター三脚（別販売品）に取付けて任意の傾斜ライン光を設定することができます。

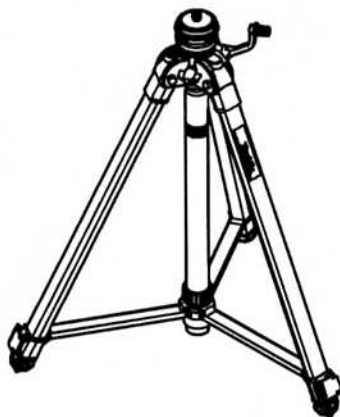
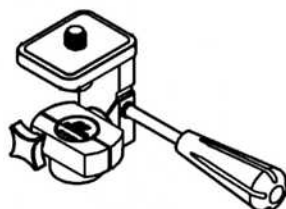
［使用手順］

① 簡易傾斜雲台を微調整雲台付エレベーター三脚に取付ます。
② 墨出し器（本体）を簡易傾斜雲台に乗せ本体取付つまみを回して固定します。
③ 本体の電源スイッチを押します（ON）。
④ 一度、整準が完了することを確認します。
⑤ マニュアルスイッチを押します。
マニュアル表示ランプ（赤）が点滅もしくは点灯します。
⑥ マニュアル表示ランプ（赤）が点滅から点灯に変わるまで待ちます。
⑦ 簡易傾斜雲台で任意の角度に傾斜させます。

2．マニュアルモードの注意事項

マニュアルモードでは整準機能を停止させていますので、本体もしくは三脚に触れると整準完了の精度を保持することができなくなりますので十分注意してください。
マニュアルモードを使用する場合は、地墨やライン光の位置合わせを完了後に切換えてください。マニュアルモードで本体を回転させると正しい墨出し作業ができなくなります。

● 別販売品のご紹介

■ 別販売品の詳細につきましては、カタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙記載の当社営業所へお問い合わせください。

・微調整雲台付エレベーター三脚
部品番号（TK00LM4000）

・簡易傾斜雲台
部品番号(TK00LM3810)

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）